

# 文化創生の街「尾花沢」



伊藤 瓢堂

銀山上の畑焼陶芸センター代表  
おばなざわ匠の会代表

日本国憲法の第25条に「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」の文言がある。この「文化的」の文化の解釈は極めて難しく、また曖昧なものである。私は、難しく考えないで政治経済にとらわれない個々・家々・地域住民の生活スタイルそのものが文化になると思っている。

尾花沢市のスローガン『雪と西瓜と花笠』もある意味では、尾花



沢の文化そのものと言える。雪は、冬の尾花沢の生活に「喜怒哀楽」の心をもたらし、雪国ならではのさまざまな創意工夫の生活様式が営まれてきた。西瓜は、夏場の「涼と甘味」の自家の楽しみから、やがて長年の研究と改良工夫がなされ今や全国に誇る尾花沢の特産物となった。花笠は、築堤の労働の一時の娯楽であったが、歌い踊り続けている内に国内はあるか、世界にも知れ渡る「花笠音頭・花笠踊り」となった。間違いなく雪も西瓜も花笠も、尾花沢の身近な文化である。

文化は、私達の生活の中で「こだわり」と「持続（継続）」と「楽しさ」を受けついで政治経済を意識しないところに生まれる。文化とは、田地畑畑における「土と肥料」のようなもので、人が人間として育って行く、「心の栄養素」である。文化創生の街「尾花沢」を今後、全国に発信していきたい。

## 人のうごき

### 常任委員会の異動

須貝 孝 議員

総務文教常任委員会 から

市民厚生常任委員会 へ異動

### 議会事務局人事

議会事務局の職員が4月1日より次のように代わりました。

#### ◎転出

総務課長(併)選挙管理委員会事務局長

(総務課へ)

丹川 弘行

行政危機管理係主任

菅野 真紀

(総務課へ)

#### ◎転入

議会事務局長

鈴木 浩

(定住推進課より)

庶務係主事

伊藤 智美

(社会教育課より)

### 行政視察に 来市された議会

2月5日

栃木県 栃木市議会

議会広報誌発行

特別委員会(11名)

### 表彰

尾花沢市表彰規定に基づき、永年市の発展に尽くされた功績により表彰されました。

### 尾花沢市功労表彰 (在職8年)

菅野 修一 議員  
加藤 克彦 議員

## あとがき

早いもので私達4名の新人議員が編集に携わるようになり、3回目となる第89号を発行する運びとなりました。

編集作業の中で、普段の議会活動の中ではわからない事が理解できる時がしばしばあり、勉強になる事も多くあります。そんな意味ではこの仕事に感謝をしなければなりません。市民の皆さんから関心を持っていただける、より見やすい議会だよりを目指してまいります。(伊藤 浩)

### 市議会だより編集委員

- 委員長 塩原未知子
- 委員長 小関 英子
- 委員 大類 好彦
- 委員 笹原 和子
- 委員 伊藤 浩
- 委員 鈴木 清
- 委員 鈴木 裕雅

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

おばなざわ

# 市議会だより

### 3月定例会

- 予算の審議……………2
- 予算特別委員会(総括質疑)……………4
- 分科会委員長報告……………6
- 平成27年度補正……………7
- 一般質問……………8～12
- 特集(議会傍聴)……………13
- 広域組合議会報告……………14
- 委員会報告・議会日誌……………15
- 私のひとこと……………16

89号

平成28年4月15日発行

表紙写真：日本の祭り代表として、マカオの春節パレードに参加した花笠おどり隊と花笠太鼓。

2月6日～11日の日程で、街のメインストリートと3kmのパレードに参加した。

平成28年度予算を可決



# 子育て日本一

一般会計 107億1,200万円

特別会計 53億5,355万円

特別会計

国民健康保険特別会計	25億8,954万円
中央診療所施設勘定	4億5,377万円
簡易水道特別会計	2億4,130万円
村山北部土地改良事業特別会計	608万円
農業集落排水事業特別会計	6,702万円
介護保険特別会計	18億2,532万円
後期高齢者医療保険特別会計	1億7,596万円



新築住宅

【住宅新築等助成事業】

基本助成 100万円  
 市内業者建築加算 30万円  
 子育て世帯等加算 20万円

最大 150万円



スキー場を活用した学童保育

【あたたかい子育て応援事業】

- 1 あかちゃん子育てサポート事業  
公共施設に授乳スペース 264万円
- 2 子育てパパ育成事業  
父親限定のイベントなどを通じ  
家事・育児への積極的参加を促す 100万円
- 3 わんぱくキッズ育成事業  
知育・食育・体育の提供 126.5万円
- 4 あったか子育て世帯育成事業  
祖父母世代の子育て促進 81万円
- 5 おばなざわ子育て情報発信事業  
子育て支援対策の情報発信力強化 50万円

3月定例会は、3月4日から18日までの15日間の会期で開催されました。平成28年度一般会計予算などの議案について、一般質問や総括質疑を行うとともに、予算特別委員会を設置して慎重審議を行い、その結果いずれも原案の通り可決しました。一般会計の予算総額は107億で、子育て支援日本一を目指す尾花沢の、主な新事業を紹介します。

【その他の主な事業】

① AED設置

共同福祉施設  
 基幹集落センター  
 商店街活性化センター  
 福原工業団地  
 4ヶ所に設置 185万円

② 防犯カメラ

児童の安全・悪質商法などの被害防止のため市内5カ所に設置  
 250万円(50万円×5台)

③ 防犯灯のLED切替

5年間で市内の防犯灯をLEDに交換  
 1,000万円

【コンピューター整備事業】

中学校のパソコン……86台  
 800万円

■市内中学校の不足分を配分



タブレット端末体験授業



福原ふるさと塾の米粉給食

【学校給食用食器更新事業(共同調理場)】

ご飯用食器……700個  
 お汁用食器……700個  
 おかず用食器……600個  
 182万円

■市内中学校、宮沢小学校、常盤小学校の食器更新

# 予算特別委員会総括質疑

## 市民生活向上にどのように活かす!?

### Q & A



お城山

**Q** ふるさと納税の使途が多様にわたっている。子育て日本一を掲げている本市として手厚い子育て支援に特化してはどうか。又、返

**A** 市で管理しなければならぬ橋脚は138橋あり、平成23年と24年に調査を行なった結果、早急に修理すべき橋脚が2橋、5年以内の橋が12橋10年以内が25橋である。28年度は中島橋の改修を行なう計画となっている。

**Q** 新たな選挙で増える有権者はどのくらいか。また、移動の3ヶ月以内であれば滞在先でも投票が可能であり、これらの啓蒙活動をしつかりと進めて欲しい。(小関英子)

**A** 4保育園の保育士は47名で職員21名、臨時職員26名となっている。他に臨時職員の保育員が8名となっている。待遇改善については民間の状況を見ながら対応したい。

**Q** 延沢銀山城跡の登城路を整備し、観光ルートをすれば交流人口の増加にも繋がる。城山の模型はどんなものか。延沢沢能登守物語の影絵を収録し保存してはどうか。(笹原和子)

**A** ふるさと尾花沢応援条例により基金の使途を定めているが、来年度から3項目を追加し、36事業とするが、内16事業が子育て支援関係となっている。返礼品では特に牛肉の希望が多く、3ヶ月待ちとなっているので出来るだけ早く対応できるように努めたい。

**Q** 今年、マカオの旧正月のパレードに日本



マカオの広場で花笠おどり披露

**A** 降雪期における玉野小学校に通う母袋や鶴巻田地区の通学路の確保が一番と考え、県では2月に朝の通学路の状態を確認している。色んな課題が見えているので早急に検討して行きたい。

**Q** 市営住宅への入居規定をみると収入制限の他に保証人を付ける必要がある。市長が特別に認めた場合は除くとの特例がある。どのような場合か。(星川睦子)

**A** 海外では今、日本食ブームもあり、国の政策でも農産物の輸出を推進している。スイカは現在試験的に海外輸出も行なっているが、今後JAや生産者団体と協議しながら調査研究に当たって行く。

**A** 保証人は義務づけられている、特例として最近発生していませんが、被災された場合などがこれに含まれる。

**Q** 市内の公立4保育園で働く保育士の資格の状態はどうなっているか。また、待遇の改善をすすめるべきであると考えられるか。(奥山 格)

**A** 第一に非難誘導を行い、火災発生場所の対岸に避難させる。消火活動は温泉街の5本の消火栓やポンプによる消火、必要に応じてヘリコプターによる消火を行なう。

**Q** 出産祝い金が3万円から5万円になったが、他の自治体と比べどうなのか?更なるアップを検討してはどうか。(鈴木 清)

**A** 出産祝い金は昨年実績で94名となっている。現在14市町が実施しているが結婚と出産の両方を支給しているところは少ない。3人目以降は10万円として継続したい。



北村山高校での模擬選挙

**Q** 子育て日本一を目指し、20億円規模でもたか保育園と尾花沢小学校の改築を早急に進めるべきと考えるがどうか。(須貝 孝)

**A** 何よりも財源確保をする事が重要である。過疎債や緊急防災・減災事業債にも予算枠があるため、長期的に検討しなければならぬ課題と考える。

**Q** 現在のスクールバス路線数と将来的に乗り換えバスを運用する考えはないか。(伊藤 浩)

**A** 現在は13路線で運行している。デマンドバスや料金の無料化と併せて地域の絆を深め、子どもを地域で見守る意味から検討すべき課題と考える。

**Q** 4月から市営バスのダイヤやルートに変更はあるのか。また、

**A** 現在では尾花沢市で管理しなければならない橋脚はどの位あるか。また、老朽化している橋も多いため今後の整備計画はどうか。(鈴木裕雅)

**Q** 尾花沢市で管理しなければならない橋脚はどの位あるか。また、老朽化している橋も多いため今後の整備計画はどうか。(鈴木裕雅)

**A** バス停の変更は警察署の移転に伴うものと学校の統廃合による名称の変更です。市内循環バスのルートも一部変更になっている。増便に関しては今後検討したい。



改修予定の中島橋

# 予算特別委員会

# 分科会委員長報告

## 総務文教 (第1分科会)

### 市税の歳入

山形県内経済情報報告に基づく景気の動向指数や市内事業所の景気状況などを参考に予算額を算出したところ、市税予算の予算額は、16億6千万3千円、前年度比3.0%の増と予定している説明を受け、公共施設整備等基金を活用する共同アンテナ解体について、撤去資材の有効活用に努めること、公用車リースの契約にあつては、メンテナンス整備など市内整備工場が受注できるように留意して進めることを要望した。

### 新庁舎建設の実施設計

議会との協議の上、敷地造成設計は効率的な発注になること。

### スイカエキスを原料とした化粧品

ネーミングや高級感あるパッケージデザインを重視して取り組むことを要望した。

### 住宅新築等助成金事業

市民への分りやすいチラシ配布と建築関係者に対し情報の提供をすることを要望した。

### ふるさと納税返礼品

寄付者をひき付け喜ばれる品物を選定することを要望した。

### LaLaネット

婚活ツアーに参加しやすくなるよう、結婚活動支援員や関係者のサポート体制の充実が図られるよう要望した。

## 市民厚生 (第2分科会)

### 路線バス運行費

公共施設の移転に伴い、停留所の移動や名称の変更を行いバスの利便性の向上と、子どもや高齢者などの足の確保を図るよう要望した。

### 防犯カメラの設置

ふるさと尾花沢応援基金を活用し、5台を設置する予定だが、大石田駅尾花沢口待合所へ設置するよう要望した。

### 銀嶺荘の今後のあり方

検討委員会を設置し、協議しているとの説明を受け、今後の銀山地区の避難所の在り方について、関係各課と協議するよう要望した。

## 産業建設 (第3分科会)

### 保育所の運営体制

待機児童ゼロや年度途中の入園が可能なのは、本市の特徴であり、さらに情報発信していくよう要望した。

### 国民健康保険

平成30年度からの県との共同運営に向け健全な財政運営に努めるよう要望した。

### 中央診療所の運営

在宅診療に対応できる体制づくりを推進するとともに、全力で常勤医師の確保に努めるよう要望した。

### 介護予防事業

健康寿命の延伸のためにも大変重要であり、今後も参加しやすい環境を整えるよう要望した。

### 農地集積担い手支援事業費補助金

担い手農家が減少する中で、今後受け皿となる集落営農や法人の立上げを支援するよう、要望した。

### 多面的機能支払交付金事業

集落営農の足掛かりとなる事業であるため、今後も参加組織の拡大に向け、周知を図られるよう、要望した。

### 特産品販路拡大事業

尾花沢市の特色ある商品を売り出す、重要な事業であり、さらに拡大して取組んでいかれるよう、要望した。

### 新設された市資格取得促進助成金

新事業ということもあり、例を挙げ分かりやすい説明を行い、制度利用が増えるよう要望した。

### 道路新設改良工事請負費

流雪溝の整備など、地域から多くの要望があることから、今後も早期の事業着手に向け要望した。

### 公園トイレの消灯時間

夜間のウォーキングの際の利用や防犯上の観点から、人感センサーの照明などを検討するよう要望した。

## 平成27年度

# 補正予算

## 地方創生加速化 交付金事業

**Q** 体験型旅行海外販売促進事業委託料の内容は何か

**A** おもてなしのイベントなどレベルアップのために専門の業者に委託する。

**Q** 宝栄牧場観光地整備調査業務委託料の内容は何か

**A** 観光資源として活用できるように水関係など全体の整備をする。



宝栄牧場

**Q** 宝栄牧場がメガソーラー建設候補地になっているが観光資源にするのであれば取り消すべきではないか

**A** 県のホームページからは削除依頼をしていない。観光資源として有効活用していきます。

## 農業振興費

**Q** 青年就農給付金(経営開始型) 減額の内容は何か

**A** 定額以上の収入がありその分が減額となった。

**Q** 経営育成支援事業と担い手確保・経営強化支援事業の補助金は補助率が違う。有利な補助が受けられない時の対策はどうか

**A** 予定以上に申し込

## 観光費

**Q** 銀山温泉家並保存整備事業補助金の内容は何か

**A** 銀山温泉地内の空き地に旅館を新設予定です。

## 常備消防費

**Q** 備品購入費の内容は何か

**A** 防火衣、投光器、制服などの購入です。

## 教育費

**Q** 工事請負費と備品購入費の内容は何か

**A** 小・中学校の無線LAN工事と職員用のパソコン購入です。

**Q** 選手派遣補助費は、各種競技会の年間計画で把握し、当初予算で

みがあるか聞いています。今後も支援できるように対応していきたい。

## 中央公民館費

**Q** 女性のつどい補助金減額はなぜか

**A** 当初の目的は達成できたとの意見があり今年度は開催されなかった。今後男女共同参画事業などとして開催すべきではないかとの提案もあり検討していきます。

## 運用開始

### 尾花沢市防災行政無線 尾花沢市消防本部高機能消防指令センター

3月25日まで設置整備が完了した。災害時に住民に向けて情報伝達が可能になり、市民の生命と財産を守るために、より迅速な対応ができるようになりました。



## 決定

### 特別交付税<sup>①</sup> 総額7億9千730万5千円

平成27年度地方交付税のうち特別交付税額が、3月22日に国から総額7億9千730万5千円の決定通知を受けました。

今年も1月22日に豪雪対策本部が設置され、市民生活の安全確保のために万全を期しました。市議会としても、2月中旬に県選出国会

議員や、関係省庁を訪ねて、除排雪や子育て支援などの財源確保のために特別交付税の要求8億円達成を目指して、強く要望活動を行ってきました。

<sup>①</sup>特別交付税の使途はある程度自治体で決めることができるので、大変有効な財源になります。

# 職員の意識改革とスキルアップを急げ



塩原未知子議員

**Q** 「第6次尾花沢市総合振興計画後期基本計画」は、計画を作った冊子にまとめ、インターネットで全国から閲覧、周知しただけでは終わらない。まちづくりに対する考えを議論する市民と共有する場づくりが不足している。なかでも徳良湖周辺環境整備マスタープランの策定に際しても議論が必要ではないか。

**A** 国道347号開通に向けての冬のイベント活用や集客を想定して、今後さまざまなプランや計画を企画し、進めていくなかで、地域住民の声を聞きプランの見直しをして行く。

**Q** 震災後5年間で9校が廃校になった。校内の美術品の保管はどうしているのか。

**A** 使用出来る校舎では校内の展示場を集めている。廃校舎では取り壊す前に移動する予定である。上柳小学校は市民の健康増進に関する再利用を検討している。上柳小にあった伊藤瓢堂氏の作品は、玉野小学校で子どもたちに触れられる場所に展示する。



**Q** インバウンド対応や事務のデジタル化が進むなか、職員のスキルアップ研修にも変化が必要だ。また地域の歴史や文化を語れない職員も多い。実家に住み続けている職員の割合はどれくらいか。

**A** 実家に住み続けている職員は約4割、退職して区長になる職員が約1割いる。地域の歴史や文化に精通する事はもちろんだが、今は英語やIT、コミュニケーション力も問われてくる。平成27年度は年間100回以上の研修会を実施して140名の職員が受講しているが、若手職員「GENKチーム」の独自研修もはじめ成果をあげてきている。今後さまざまな分野に対応するためにも、時代にあった職員のスキルアップを検討していく。



伊藤浩議員

# 尾花沢市の基幹産業である稲作への取り組みについて

ない課題であると考え

**Q** 学校教育の中で自然環境とのふれあい授業は、子どもたちの将来形成や愛郷心にも大きな影響を与えると考える。現在のふれあい学習と将来的な考え方についてはどうか。

**A** 現在市内のほぼ全ての小中学校においては、総合的な学習や特別活動などで自然環境とのふれあいを行っている。これからも多面的に検討しながら、身近な地域の自然の魅力を存分に味わう事ができる活動を考えていきたい。



御所山沢下り

**Q** 高齢者世帯など除雪サービスについては、今年度内容が充実され利用者からも喜ばれている。今後も改善が可能な部分については前向きに進めて頂きたい。作業受託希望者を事前登録にする事で、受託者の負荷が低減可能になるのではないか。

**A** 今年度の除雪サービス事業の該当世帯は368世帯となっている。作業受託希望者の事前登録については、建設業などの事業所や近隣の個人など多種多様となっているので検討したい。



# 雪を味方にする政策の実現



青野隆一議員

**Q** 概算工事費3億5千万円に及ぶ花笠高原荘のリニューアル工事の優先度を、市長はどう考えているのか。

**A** 施設の維持管理を行う上で早急に必要なもの、今後の利活用により必要になるものを検討すべきと考える。施設の今後の在り方は、関係団体や外部の有識者を交えた検討委員会を設置し、検討を進めたい。

**Q** デマンド型タクシーの導入は「まずは路線バス使用料の完全無料化を行う」としているが、どの程度利用者の増加を見込んでいるのか。

**A** 現段階では、将来

の高齢者数の動向がつかめないため、利用者の増加見込み数の把握は困難な状況にある。市民の意見を頂きながら、バスの利用率の向上と完全無料化について、関係各課で具体的な方法を検討し、市民の足の確保をはかりたい。

**Q** 新庁舎建設は、市民ギャラリー・執務スペースの確保・屋上の雪対策は全国に誇れるよう見直しすべきではないか。

**A** バス待合室を市民ギャラリーとして活用するのは十分可能である。窓下やカウンター内や暖房機なども不要となることから、現在の執務スペースは確保できると考える。屋上の雪対策は、豪雪地尾花沢市にとっても、建設費・ランニングコストの抑制も重要なポイントだ。新庁舎では、空気熱を利用した融雪方式を導入したいと考えているが、技術検証委員会を開催し、専門的な見地から検証していきたい。



**Q** 「雪さえなければ」というマイナスの考えだけでなく、雪を活かした産業や観光などで雪を味方にするような政策に力を入れていくべきではないか。

**A** 雪景色が魅力の一つの銀山温泉の2月の観光客が増加状況にあり、外国人観光客から「雪を見たい。親しみ、たい」との問い合わせがある。雪は貴重な観光資源の一つだ。国道347号の通年通行に伴い、雪を一層活かした観光商品やイベントを検討して行きたい。

# おばねから地方創生



加藤克彦議員

**Q** 山形新聞に「豪雪地帯に人口流出」衝撃的な記事が掲載された。「尾花沢市総合戦略」の施策の重点化と見直しを考へてはどうか。

**A** 様々な雪対策を重点施策としている。総合戦略の施策については毎年、重要業績評価指標の検証を行い、随時見直しを行きたい。

**Q** 北町地区の再開発が計画されているが、「立地適正化計画」と「都市再生整備計画事業」により整備を進めてはどうか。

**A** 「コンパクトなまちづくり計画」を全庁的に取り組む事業となるため、県の動向や全国状況を注視しながら慎重に検討していきたい。また、「都市再生整備計画事業」は今後、総合的に調査研究していきたい。

**Q** 徳良湖周辺環境整備マスタープランが示されたが、パークゴルフ場の拡張は現在ある市有地を活用すべきではないか。

**A** パークゴルフ場は、36ホールに拡張してほしいとの声が出ている。同マスタープランは、議会をはじめ市民の皆様のご意見を反映させて行きたい。

**Q** 尾花沢ブランド推進事業については、国内向けの戦略が弱いように思うがどうか。また、ジェット口に関する進捗状況はどうか。

**A** 銀座三越では、雪降りや牛の販売額が牛肉部門トップを誇るなど成果が見えてきた。今後多言語化機能を整備するなど国内外に

ブランドの魅力を発信して行きたい。ジェット口との連携は関係機関と十分協議しながら検討したい。

**Q** マカオ春節パレードに「おばねざわ花笠踊り隊」が参加し、大きな成果を挙げた。これを機に日本マカオ大使館などで尾花沢イベント開催やトップセールスを考えてはどうか。

**A** 夜のパレードのため花笠や法被にLEDの電飾を施し大好評で、テレビ・新聞の取材などで、尾花沢の魅力をアピールしていただいたい。今後も観光・ブランドの売込みを強化したい。



電飾をほどこした花笠踊り隊

### 新庁舎の基本設計は急がず 様々な問題をよく検討せよ！



奥山 格議員

**Q** 市の保健センターの役割と施設のあり方についてどう考えるか。

**A** 乳幼児から高齢者まで、市民の健康の保持・増進を図ることが自治体の役割であり、その中核を担うのが、保健センターであると認識している。

**Q** 衛生面やプライバシーを考えると玄関やトイレや通用口を、一般の庁舎利用者とは別個にすべきではないか。

**A** 検診時は玄関先とトイレ前に案内表示を設け、間仕切りで庁舎側から直接見通せないようにしたい。

**Q** 健康診断をするときは検診者を優先するというが、別個にすればそれぞれ一日中使えて便利ではないか。

**A** 庁舎と保健センターの併設により、市民サービス面では、子育て支援や健康増進・福祉・介護などの窓口部門が一体となり、多様化するニーズに対し、総合的に対応することが可能となる。

**Q** 湯沢市や酒田市の新庁舎もRC造(鉄骨をコンクリートで固める製法)の一部鉄骨造であり、耐久性・耐火性からRC造を取り入れるべきではないか。

**A** 豪雪に十分耐えられる耐久性・品質の確保とコストの縮減、将来的な組織改編に柔軟に対応できることから、構造形式については鉄格造とし、耐震プレースを組み込み耐震対策を行う計画である。

**Q** 市民の歩く距離が短くなるよう、南側にメインエントランスを

設けるべきではないか。

**A** 道路からの動線や窓口部門のワンストップサービス、バス待合所の使い勝手などフロア全体の市民の動線を考え、東側に配置した。

**Q** 3階に防災研修室が多いが、そんなに必要か。1・2階に会議室がなく、執務スペースはゆとりがないのではないか。

**A** 現庁舎で五つの会議室があるが、様々な会議のため不足している。将来的な職員数の動向だけでなく、文書管理の適正化や事務の効率化を図り、スペースを有効活用したい。

**Q** 貯雪庫の貯雪量の300トンの冷房面積はいくらか。少なくとも、雪冷房の供給範囲は、災害時の一時避難スペースとなる1階市民ホールを中心に供給したい。

### 子育て日本一のために



鈴木 裕雅議員

**Q** 「のりさんサッカースタマーキャンプ」は本市の子どもたちの能力向上のためにも、ぜひ今後とも続けていただきたい。今後の予定を含め、どのように取り組んでいくのか。

**A** 「子ども体力向上」「コミュニケーション能力向上」「緊急時の対応能力向上」を事業の目的として地域間交流、緊急時に備えての「AED」教室など様々な活動が行われている。今年も八月に三泊四日の日程で開催される予定となっている。今後も継続した事業となるよう出来る限りの支援をしていきたい。

**Q** 常盤地区の放課後児童クラブを実施する予定なのか、しない予定なのか。

**A** 現在、本市においては、放課後に留守家庭となる小学4年生以下の児童を対象とし、尾花沢・宮沢・福原の3地区4箇所に放課後児童クラブを開設している。常盤小学校区放課後児童クラブは、平成27年10月にPTA役員の方々と、放課後児童クラブ開設の要望をいただいている。放課後児童の対応について検討を重ねてきた。平成28年夏季休暇開始にあわせての開設に向け、準備を進めている。

**Q** 子育て世帯が市外に流出せずに市内に定住できるように、市営住宅の入居審査基準を緩和してはどうか。

**A** 公営住宅法に基づき、入居資格要件が定められており、具体的



のりさんサマーキャンプ

な基準は地域の実情を踏まえ、条例で定めることとなっている。収入基準は、月額15万8千円以下、小学校就学前の子どもが居る世帯は月額21万4千円以下までとしている。あくまで低所得者に対する住宅不足の緩和、住宅に困窮している世帯への対応として家賃算定基礎額が設定されている。

### 具体的な農業支援策を示せ



星川 睦子議員

**Q** 本市の農業者は生産者として、すばらしい技術と経験を持っているが、販売戦略に関しては行政の大きな支援が必要と考える。国道347号通行は、本市の新鮮な農産物を仙台圏に売り込む大きなチャンスである。どのような具体的支援策を取っていくか。

**A** 国道347号通行通行により仙台圏と本市の行き帰りが活発になる。新鮮な農産物をJAと連携し、販路拡大の支援を考えていきたい。

**Q** 本市の農業者は苦勞と研究を重ね、高い評価を受けるようになった。また、畜産農家の後継者も育つべき

ている。一方で子牛価格の高騰や獣医師が市内にいないなど、大きな問題もある。畜産農家に対する環境整備が必要と考えるが、もっと大きな予算をつけて支援するべきではないか。

**A** 県の支援事業として、肥育用牛舎から繁殖用牛舎への改修及び設備の設置に対する支援がある。本市独自のものは、繁殖牛導入費への支援対策を計上したところであり、繁殖・肥育一環経営の推進に努めたい。

**Q** 株式会社尾花沢ふるさと振興公社に対する専決処分について、公社の職員が仕事中に発生した事故は、公社が弁償責任を負うべきである。基本協定書の中にも、こうした案件については公社が損害を賠償しなければならぬと書かれている。公社が責



新設された尾花沢牛のホームページ

この雪が「雪降りと牛尾花沢」を生み出した

任を持つべき賠償金を市が払うのはおかしいのではないか。

**A** 本市施設は、「全国市長会市民賠償責任保険」に加入している。平成23年度に「指定管理者による公の施設の管理の特例」が追加され、公の施設の指定管理者を被保険者とみなし、市の責任と同様に当該保険が適用されることになっている。

### 「子どもの貧困」「人口減少」に どう立ち向かうか



鈴木 清議員

**Q** 就学援助制度を就学前から、わかりやすく周知してはどうか。

**A** 「子育てガイドブック」を全保護者に配布し、市のHPの「おがーれ」で子育て情報を掲載している。

**Q** 「貧困」状態の子どもにも、食事の提供や学力支援などを行っていき考えはあるか。

**A** 今年度より「ひとり親家庭学習支援事業」を新たに実施し、児童の支援に取り組みたい。

**Q** ひとり親家庭に対する放課後児童クラブの減免措置はあるか。

**A** 要保護・準要保護児童のクラブ利用料金の半額を助成し、保護者の負担を軽減している。

**Q** 日本は高学費・低補助にあり、大学卒業時に奨学金借金500万円以上の学生が増えている。本市独自の無利子または給付制の奨学金制度を創設し支援していき考えはあるか。

**A** 本市では、高校進学者に無利子で貸与する「おもだか奨学金」がある。大学生への奨学金制度は、多額の財源が必要となるため、国や県の動向を注視し、慎重に検討していきたい。

**Q** 本市の「人口減少」の現状と課題をどのように把握し、施策を行っていくのか。

**A** 本市は社会減と自然減による人口減少が続いている。社会減の原因の一つが、若者の多くが進学や就職を機に転出し、本市に戻ってこない事があげられ

る。アンケート調査結果では転出希望者の多くが「雪が多いから」を理由としてあげている。自然減は少子高齢化により死亡数が増えている。安心して産み育てられるための切れ目のない子育て支援など五本の柱の総合戦略の施策を着実に実行していきたい。

**Q** 尾花沢市人口ビジョンにおいて、市全体の目標人口(2040年)1万1千800人とあるが、集落ごとの人口ビジョンも必要ではないか。

**A** 五地区ごとの地区においても人口減少のため、人口推計に大きな違いはないと考える。本年より、移住支援コーディネーターを設置し、移住による人口増加をめざしていきたい。

新年度予算、  
元気な尾花沢創生に十分か



菅根 光雄議員

**Q** 庁舎建設基金繰入額を投資的事業費に配分し、市民の要望に応える事業費に充てるべきではなかったのか。

**A** 投資的事業費は前年比21.7%減、総額12億3千9百万円を計上した。①市民生活に密着した事業―道路新設改良事業・防犯灯設置補助金・住宅リフォーム支援事業など②安全・安心を確保する事業―消防団機能強化事業・消防団ポンプ自動車購入事業など③教育分野―学校施設などの環境整備事業・地区公民館利便性向上事業などこれまで以上に予算を重点配分した。

**Q** 退職が続く。新採用員の消防学校入校や教官派遣、救急救命士研修などで隊の編成が厳しい。市民の生命財産を守るのに支障はないか。

**A** 平成28年度に5名が退職した後の5年間は退職予定者がいない状況にあり、計画的な職員採用と配置に努めたい。日中の消防団不在による消防力低下は、喫緊の課題と認識している。先進事例を情報収集するなどして、機能別消防団の組織化を検討したい。

**Q** 大学進学に奨学金を利用している方が増えており、卒業と同時に返済に追われている。ふるさと納税を活用した尾花沢市独自の給付型奨学金制度を創設してはどうか。そして、定住策に結びつけてはどうか。

**A** 給付型の奨学金制度については、多額の財源が必要となることから、国や県の動向を注視しながら慎重に検討したい。

**Q** 銀山温泉内に放水銃の設置を急ぐべきではないか。

**A** 温泉街に5基ある消火栓を放水銃に変えることは大きな効果がある。操作員と設置費用も含め検討したい。

**A** 先の計画による学校統廃合は、平成27年度で終結した。新たな計画については、将来の児童生徒数を的確に見すえながら、教育環境改善を中心にすえ、学校教育の目的や目標をよりよく実現するために行うべきものと捉えている。

請願の審査結果

採択された請願

平成28年 請願第1号

奨学金制度の充実と教育費負担の軽減を求める請願  
一般社団法人山形県労働者福祉協議会  
理事長 岡田 新一

不採択された請願

平成27年 請願第9号

TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准はしないことを求める請願  
尾花沢市農業を守る会  
会長 菅野 駿

採択された意見書

議会第1号

奨学金制度の充実と教育費負担の軽減を求める意見書

1. 速やかに大学などにおいて国の給付型奨学金制度を導入するとともに、高校を含めて拡充すること。
2. 当面、貸与型奨学金は無利子とし、制度拡充までの間、返済金は元金・利息・延滞金の順に充当するとともに、所得に応じた無理のない返済制度を確立すること。
3. 大学などの学費の引き下げや授業料減免の拡充を実行すること。

○：採択に賛成 ×：採択に反対 /：議長 欠：欠席

平成28年3月定例会賛否状況

請願番号	案件名	表決の結果	鈴木裕雅	塩原未知子	笹原和子	伊藤浩	鈴木清	小関英子	武田佳久	大類好彦	星川睦子	青野隆一	奥山格	加藤克彦	菅野修一	須貝孝	菅根光雄
第9号	TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准はしないことを求める請願	不採択	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	欠

※賛成少数のため、不採択となりました。

特集

議会傍聴に来ていただきました。

尾花沢小学校6年生の皆さんが



平成28年3月10日

真剣に私達の未来のために話合っているのがとてもありがたいな一と思いました。

私は、「ずーと尾花沢に住みたい」と思っています。安全・安心に暮らせるようにお願いします

市役所に入ったことがなかったので、とてもワクワクしました。また、見てみたいです。

市議会は、市の運命を背負っているのです。これからも、尾花沢をよしくお願いします。

帰ってお母さんに言ったら、「ちゃんと直してくれるなら、うれしいなあ」と言っていました。

安心して暮らせるのも市議会があるからだと感じました。これからも、市のために良い提案をお願いします。

※寄せられた感想文よりピックアップしました。

# 広域組合議会の報告

## 北村山広域行政事務組合議会

3月22日村山市議会会議場において定例会を開き平成28年度一般会計と3市1町の負担金など2議案を原案通り可決した。一般会計予算額9千95万で今年度比で2・82%の減となります。北村山視聴覚センターの研修機能強化や一般公開事業を充実させる事が盛り込まれた。各市町の負担額は、下記の表のとおり。

市町名	負担金	負担割合
尾花沢市	27,706,000円	30.00%
村山市	33,910,000円	36.71%
東根市	20,381,000円	22.06%
大石田町	1,037,000円	11.23%

また、27年度の社会教育部門で山形県自作視聴覚教材コンクールでどんびんすかんこの会の「六地藏」が特選に「わかぐえりのくすり」が入選と2作品が受賞された。



## 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

3月24日、組合議場で定例会が開かれ、平成28年度一般会計予算総額6億9千108万4千円、毒沢地区にあるごみ処理施設煙突改修が終了したことなどから前年度当初比13・7%の減。

主な歳出は、ごみ処理、し尿処理施設の運転管理業務委託料1億7千64万円、ごみ処理施設のごみ溶融施設維持管理補修事業8千93万円、ごみ運搬車購入費521万円など。公共下水道事業特別会計予算6億612万8千円、特定環境保全公共下水道事業特別会計6千435万7千円。27年度一般会計の補正予算は、

し尿処理施設整備費など6億4千543万円を追加し、総額14億



撮影毒沢に建設中のし尿処理場(3月30日)

5千359万円を含む9議案を原案の通り可決した。一般会計歳入のうち負担金は尾花沢市が4億3千27万7千円(うち交付税分9千38万2千円)で大石田町が1億7千99万7千円となった。し尿処理施設整備事業については、今年11月完成に向け2月末で69%の進捗状況です。

## 北村山公立病院組合議会

3月23日3市1町で構成する北村山公立病院事務組合議会が開かれ、平成28年度予算をはじめとする7議案が、審議された。

厳しい経営状況ではあるものの、ジェネリック薬品の使用促進や、県に支援を求めていくことなどを確認し、全議案が可決された。平成28年度の負担金は表のとおり。

市町名	負担金
尾花沢市	88,061,573円
東根市	327,455,340円
村山市	253,498,397円
大石田町	58,144,690円
計	727,160,000円

## 平成27年度 議会だより編集委員会 行政調査報告書

議会だより編集委員会 委員長 塩原未知子

平成27年度は、山辺町議会と山形県市議会議長会会報誌研修会に参加し、研修としました。市民と議会をつなぐ

手段として積極的にPRの活用し、全国的な議会報作成の流行などをふまえ、伝えるための編集テクニックや、市民にわかりやすく伝わる議会報づくりのスキルを学びました。

特に、山辺町議会広報常任委員会では、町民目線を大切にレイアウトするテクニックや、発行時の話題性ある取材方法、大胆で斬新な「Gikai」のロゴデザインを取り組みなど、様々な角度からのご指導いただきました。「住民目線を大事に編集する」方針は同じで

あり、内容の濃い質疑応答が活発になされ有意義な研修会となりました。上山市ニュー村尾浪漫館で開催された山形県市議会議長会会報誌研修会では、東北芸術工科大学の片岡英彦准教授による「つたわる

レイアウト」見やすさのコツの講演も大変参考になりました。早速研修の成果をとりいれ、18才選挙権開始に向けて情報発信を強化する「議会だより」編集を今後展開してゆきたいと思えます。



## 議 会 日 誌

### 1月

- 5日 市民新春祝賀会並びに市民賞授賞式
- 7日 議会だより編集委員会
- 15日 総務文教常任委員会
- 25日 議会改革検討委員会
- 29日 議会改革検討委員会・全員協議会

### 2月

- 2日 総務文教常任委員会
- 3日 全員協議会
- 5日 栃木市議会議会広報誌発行特別委員会先進地視察
- 9日 環境衛生事業組合議会
- 12日 雪まつり雪像づくり
- 15日 特別交付税要望活動(24日)
- 17日 市民厚生常任委員会
- 18日 全員協議会
- 19日 全員協議会
- 22日 産業建設常任委員会 先進企業視察
- 26日 全員協議会

### 3月

- 1日 全員協議会
- 4日 本会議(18日)
- 議会だより編集委員会
- 11日 全員協議会
- 16日 予算特別委員会(総括質疑・分科会)
- 18日 環境衛生事業組合 全員協議会
- 22日 市内小学校卒業式
- 23日 北村山広域行政事務組合議会 定例会
- 24日 北村山公立病院議会 定例会
- 25日 環境衛生事業組合議会 定例会
- 防災行政無線
- 高機能消防指令センター開所式



雪まつり雪像づくり



国道347通年通行のための鍋越峠視察